

■ ネットワークストレージサービス

インストールマニュアル

スピーバーネットワークストレージサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

こちらのマニュアルでは、サービスご利用時に必要となるアプリケーションファイルのダウンロード方法や、アプリケーションのインストール方法について解説いたします。

下記注意事項をご参照の上、手順に沿って作業を進めてください。

《注意事項》

- ネットワークストレージサービスをご利用いただくには、
 - ・ PC設定用アプリケーションファイル (Webから2種をダウンロード)
 - ・ セキュリティ証明書 (Webからダウンロード)
 - ・ USBキー (弊社より発送)
 - ・ USBキーに対応したフォルダ名及びID、パスワード (メールにてご案内)上記の全てが必要です。どれかひとつ欠けてもご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 当マニュアルにて解説しております作業には、PCの再起動を必要とする設定がありますので、他の作業中に行いますとデータが失われてしまう恐れがあります。
アプリケーションのインストールは、必ず全てのアプリケーションを終了した上で行ってください。
- 接続のタイミング等により、USBキーの認証に失敗する場合があります。動作に不具合が出た際は一旦キーを抜き、再度挿入してください。
画面右下に『USB Token 1000 has been inserted.』の文字列が確認できれば、認証成功です。
- Windows XP Home Edition 及び Windows Vista Home Basic では、OSの仕様によりアクセス権の設定ができません。これに伴い、一部機能は制限されます。
- Windows XP画面にて解説しています。OSにより多少表示が異なる場合もありますが、基本的な操作は大きく変わりませんので、ご注意ください。

インストール用ファイルの準備

ネットワークストレージサービスをご利用いただくにあたり、お客様のPCにアプリケーションをインストールしなければなりません。ここでは、インストールに必要なファイルの取得方法について解説いたします。

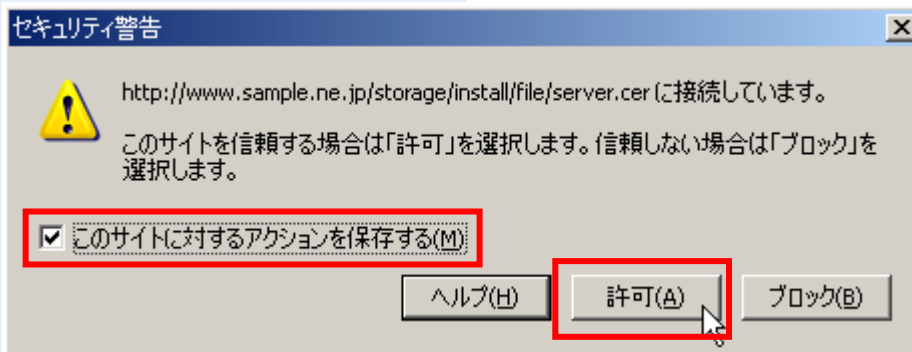
本来、アプリケーションの保存先は任意ですのでどこでも問題ありませんが、ここではデスクトップ上に『storage』フォルダを作成し、フォルダ内に全てのファイルを格納することを前提とした解説となります。ご了承ください。

▷ セキュリティ証明書の取得

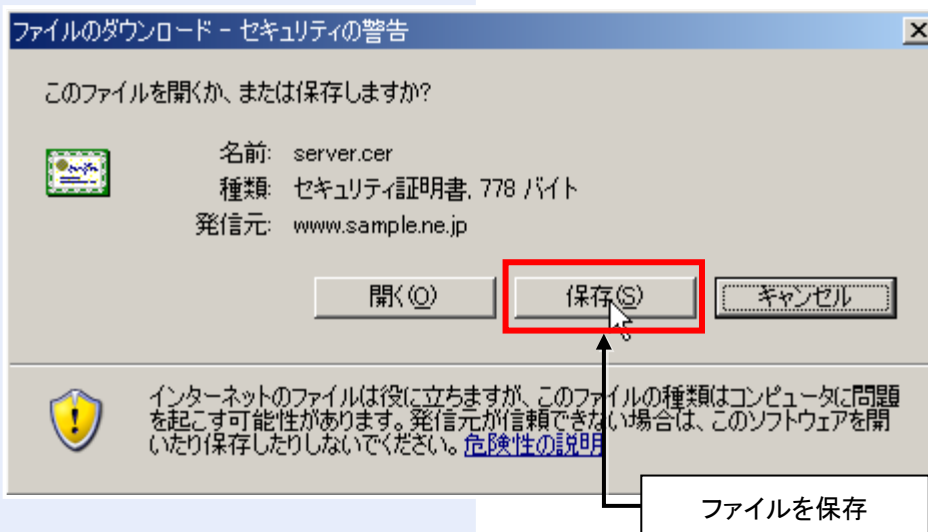
まずは、以下のURLにアクセスして、セキュリティ証明書ファイルをダウンロードします。

セキュリティ証明書 ⇒ <http://www.speeвер.net/storage/install/file/server.cer>

アクセス時に『セキュリティ警告』ダイアログが出ましたら、今後スピーバーサイトへのアクセスを許可するため、『このサイトに対するアクションを保存する』をクリックしてチェックを入れ、『許可』をクリックしてください。



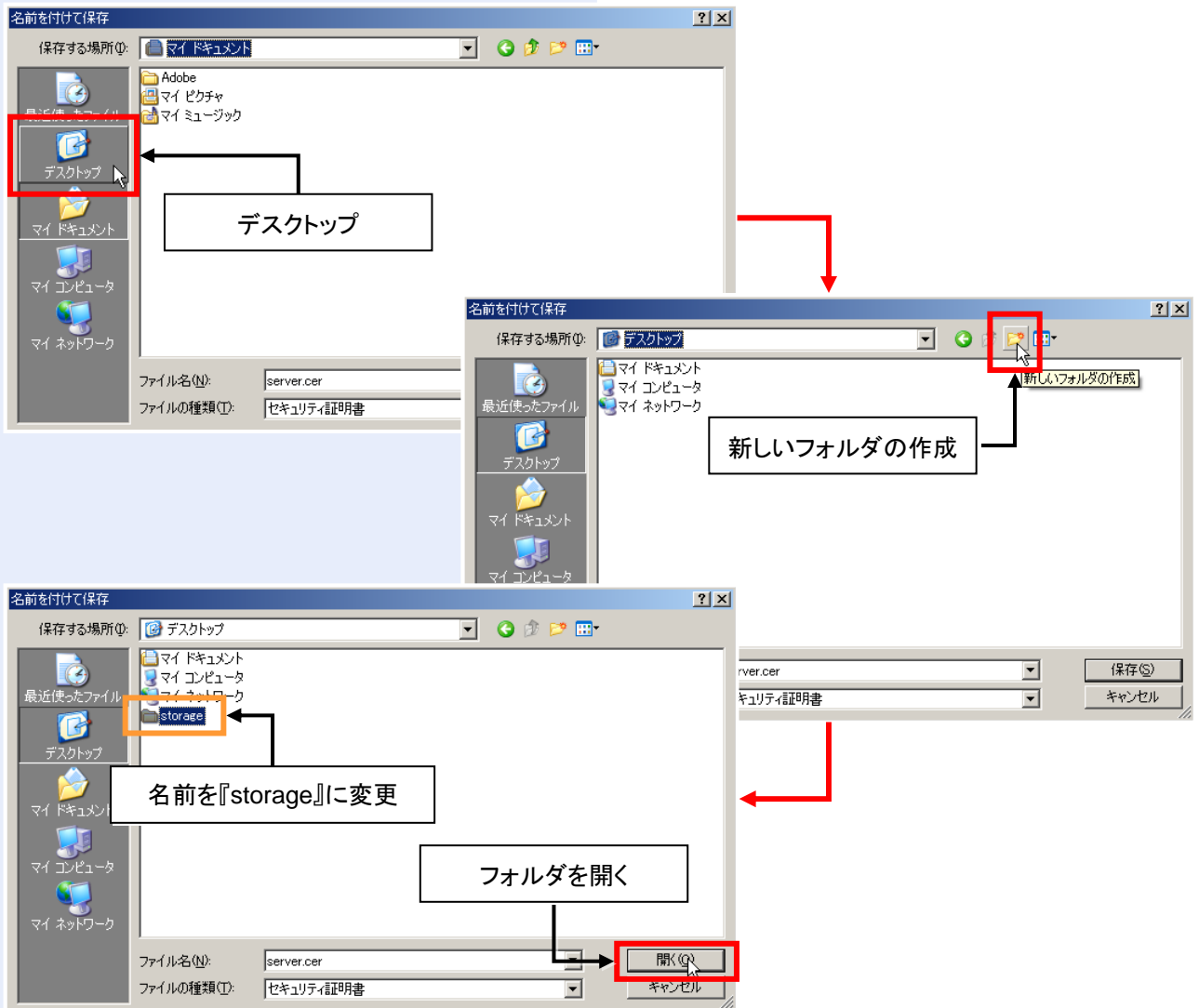
『ファイルのダウンロード』ダイアログが開きましたら、『保存』をクリックしてください。



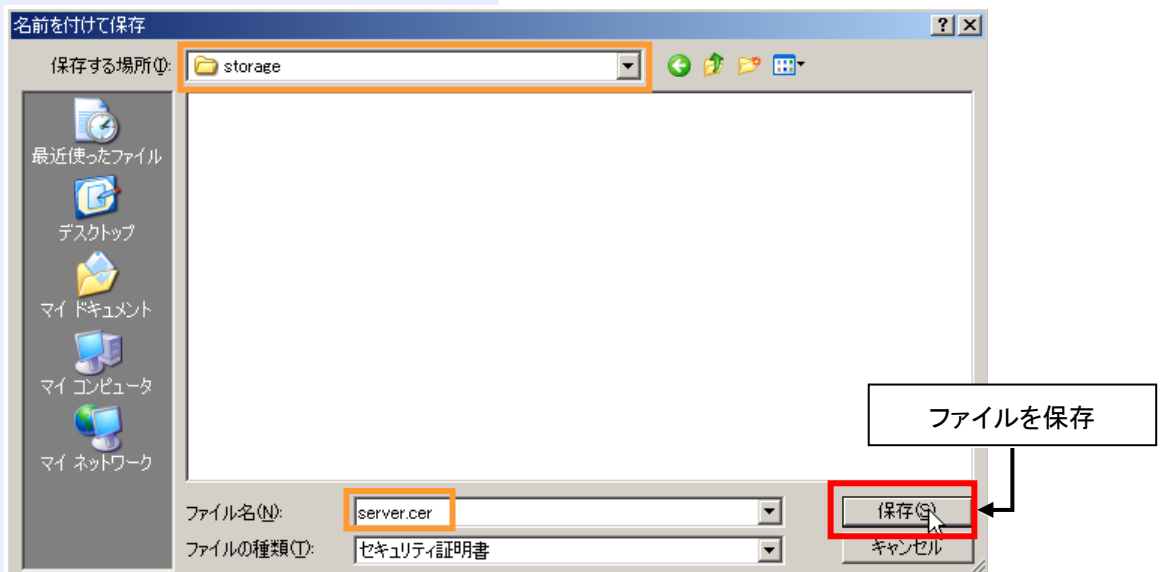
『名前をつけて保存』ダイアログが開きますので、保存先に『デスクトップ』を選択してください。

『新しいフォルダの作成』をクリックしてフォルダを作成し、『新しいフォルダ』の名称を『storage』と変更します。

※名称の変更は必須ではありませんが、当マニュアルでは以後の解説を『storage』フォルダとして行います。



作成した『storage』フォルダに、セキュリティ証明書 (server.cer) ファイルを保存してください。



専用アプリケーションのダウンロード

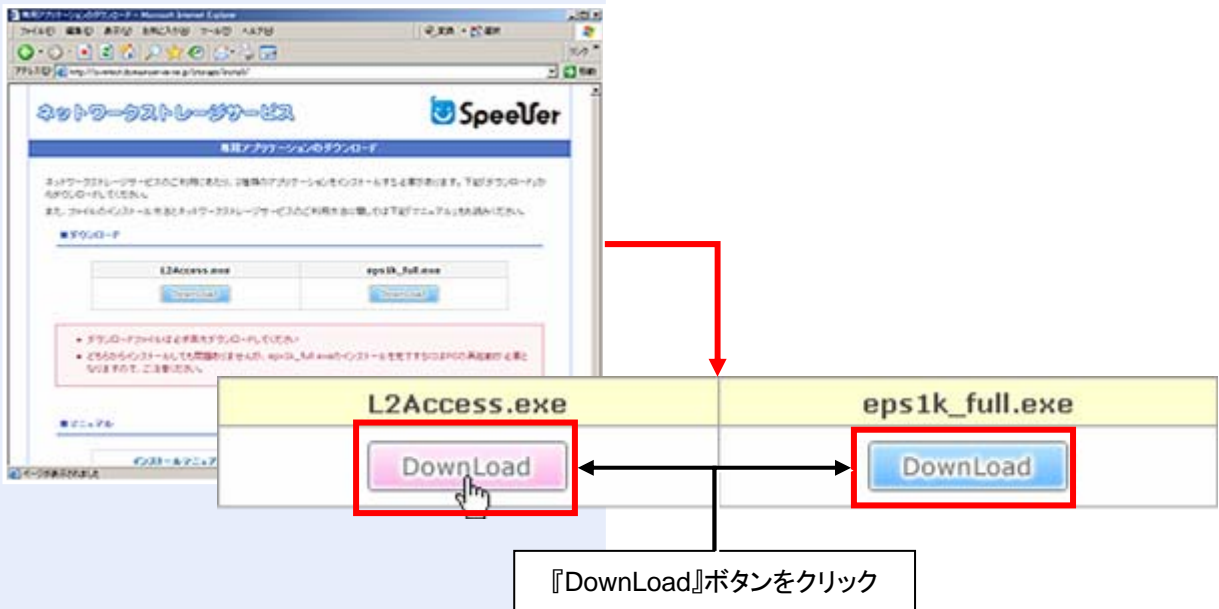
インストール用のアプリケーションを、Web上からダウンロードしていただきます。

▷ Web上からのファイルダウンロード

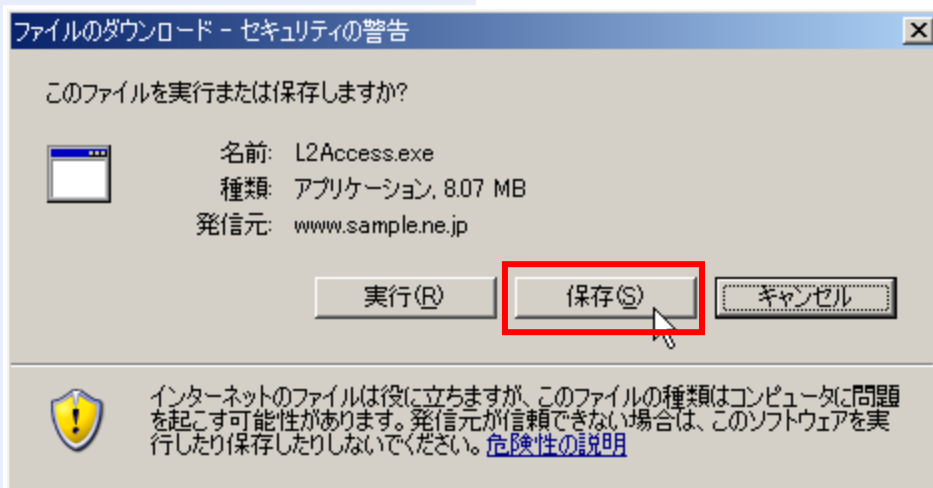
インストールファイルは、以下URLにアクセスしてダウンロードしてください。

ファイルダウンロード用ページ ⇒ <http://www.speeever.net/storage/install/>

『専用アプリケーションのダウンロード』ページが開きますので、ページ内にあるファイルをダウンロードします。必ず、『L2Access.exe』と『eps1k_full.exe』の両方をダウンロードしてください。

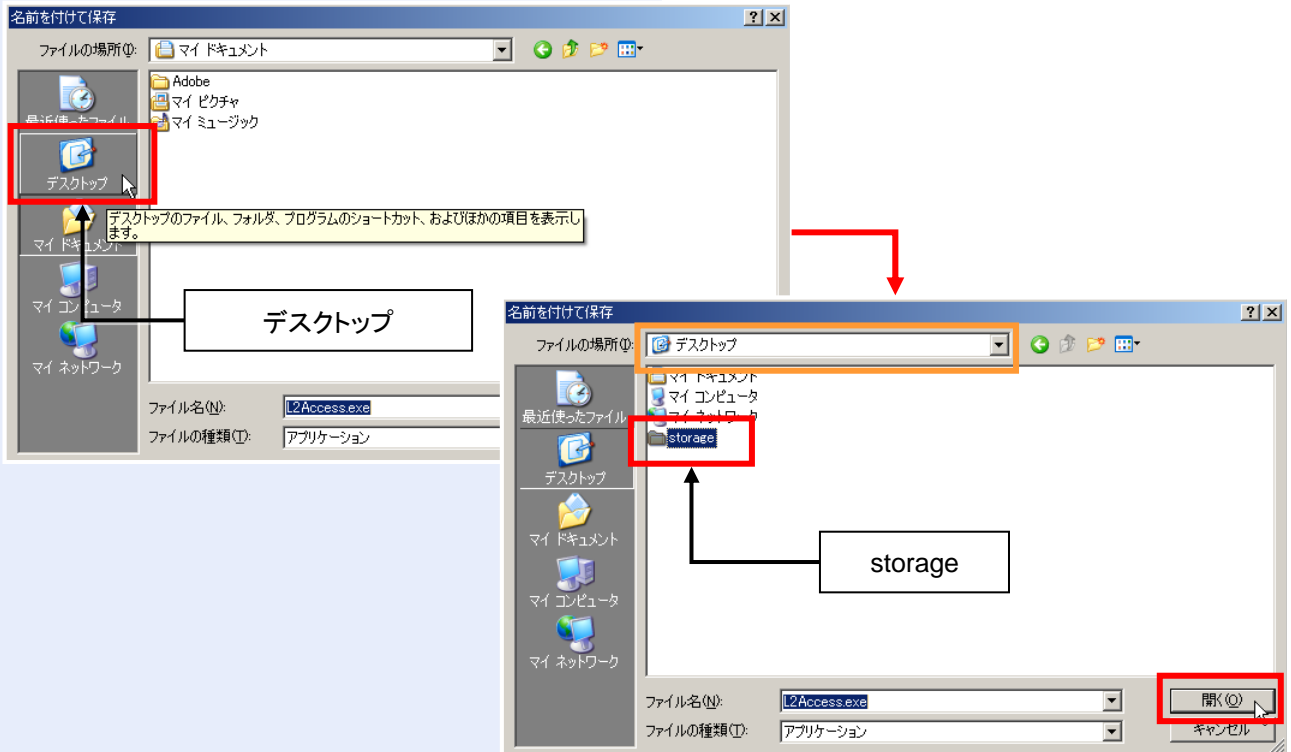


ボタンをクリックすると、『ファイルのダウンロード』ダイアログが開きますので、『保存』をクリックしてください。

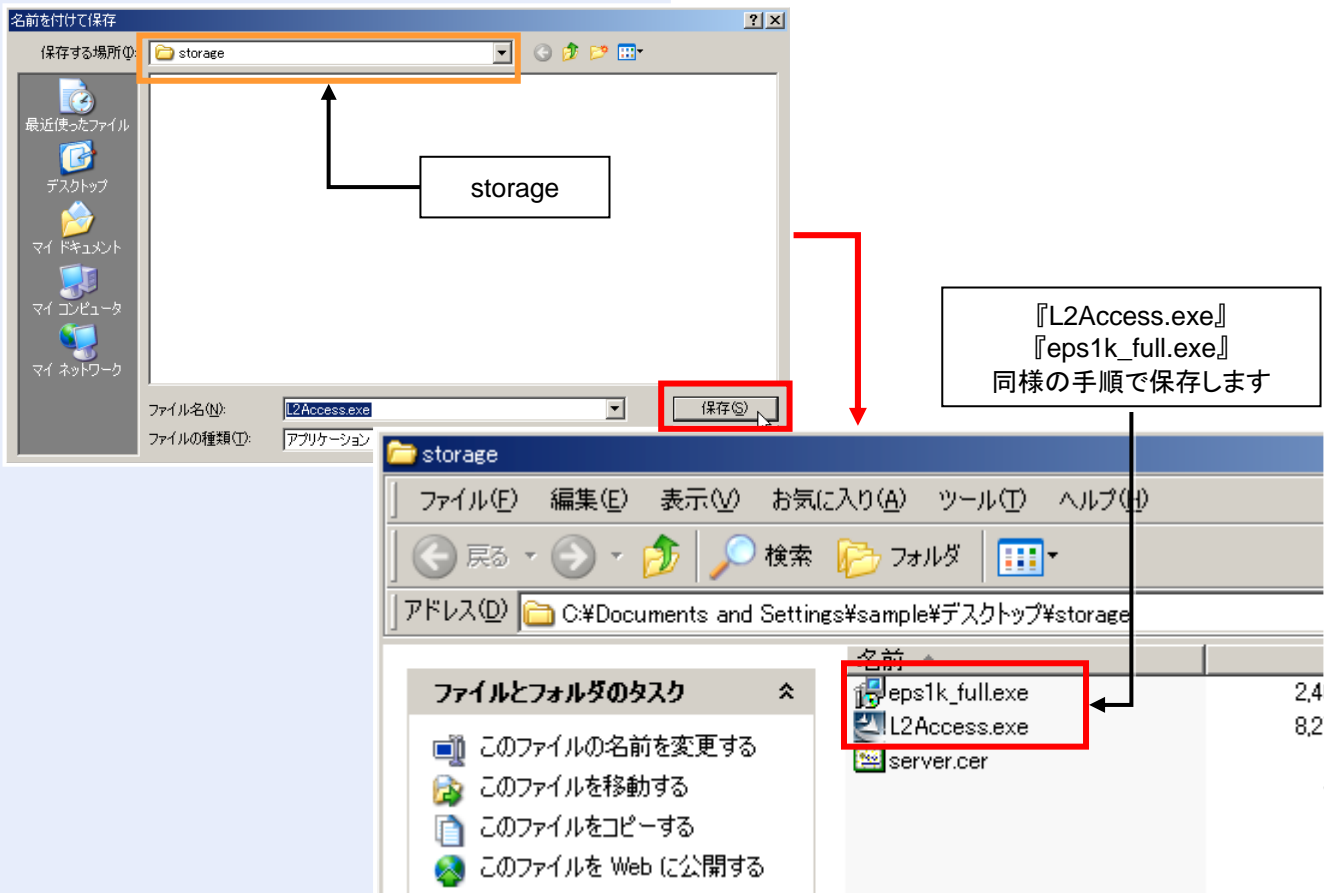


『名前をつけて保存』ダイアログが開きますので、セキュリティ証明書ダウンロード時に作成した『storage』フォルダにファイルを保存します。

ファイルの場所を『デスクトップ』とし、『storage』フォルダを選択し、開いてください。



『保存する場所』が『storage』になっているのを確認した上で、『保存』をクリックします。



2種類のファイルをダウンロードしましたら、ここでの作業は終了です。次項では、インストールについて解説いたします。

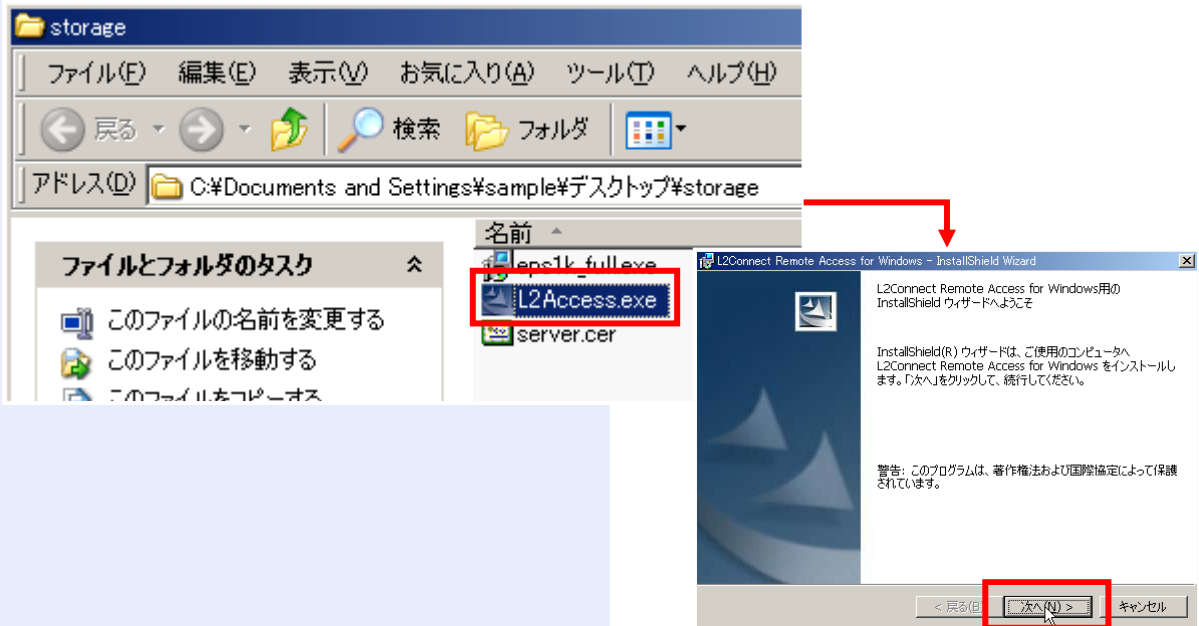
アプリケーションのインストール

ダウンロードしたアプリケーションを、お客様のPCにインストールします。

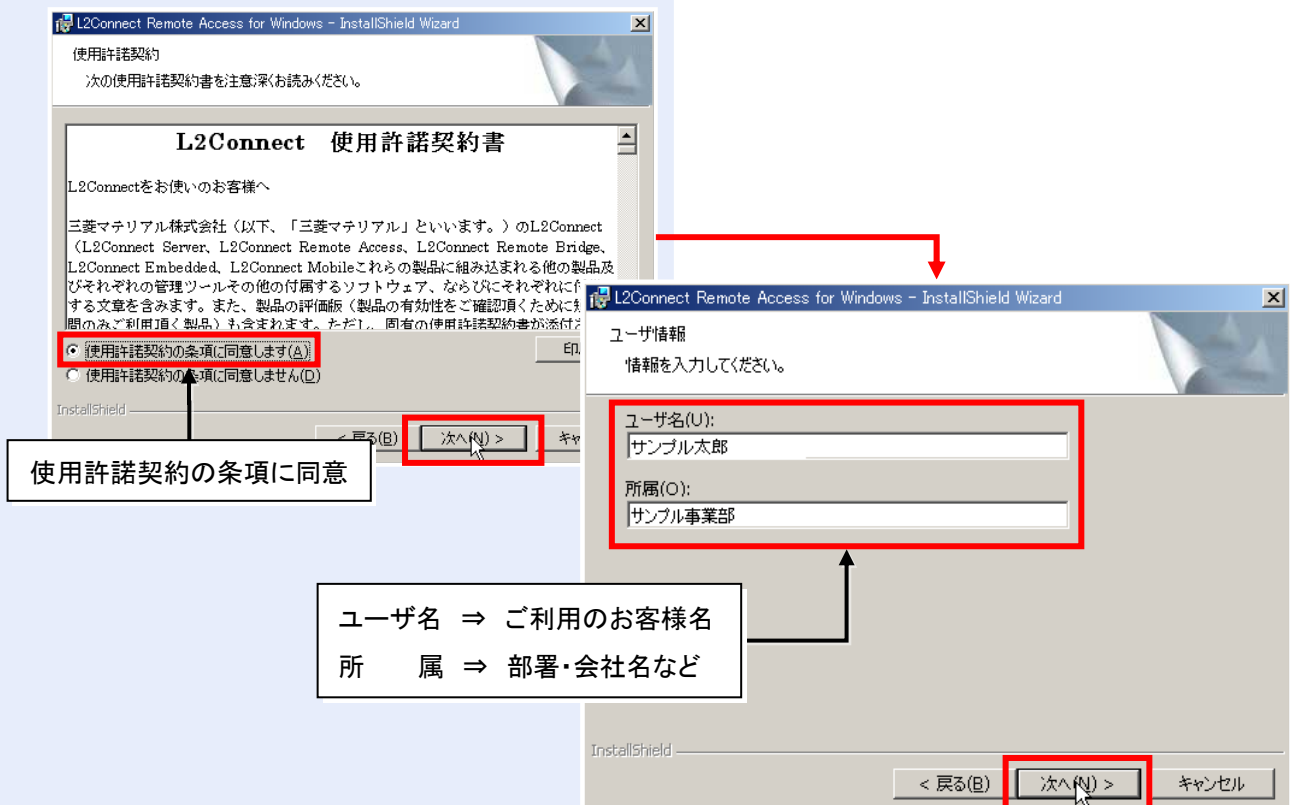
弊社からご送付いたしますメールに、お客様専用のフォルダ名及びID・パスワード、PINコードが記載されています。全てのファイル、情報が揃った状態でインストール作業を開始してください。

▷ L2Access.exe のインストール

ダウンロードした『L2Access.exe』をWクリックすると、インストールウィザードが起動します。『次へ』をクリックしてください。



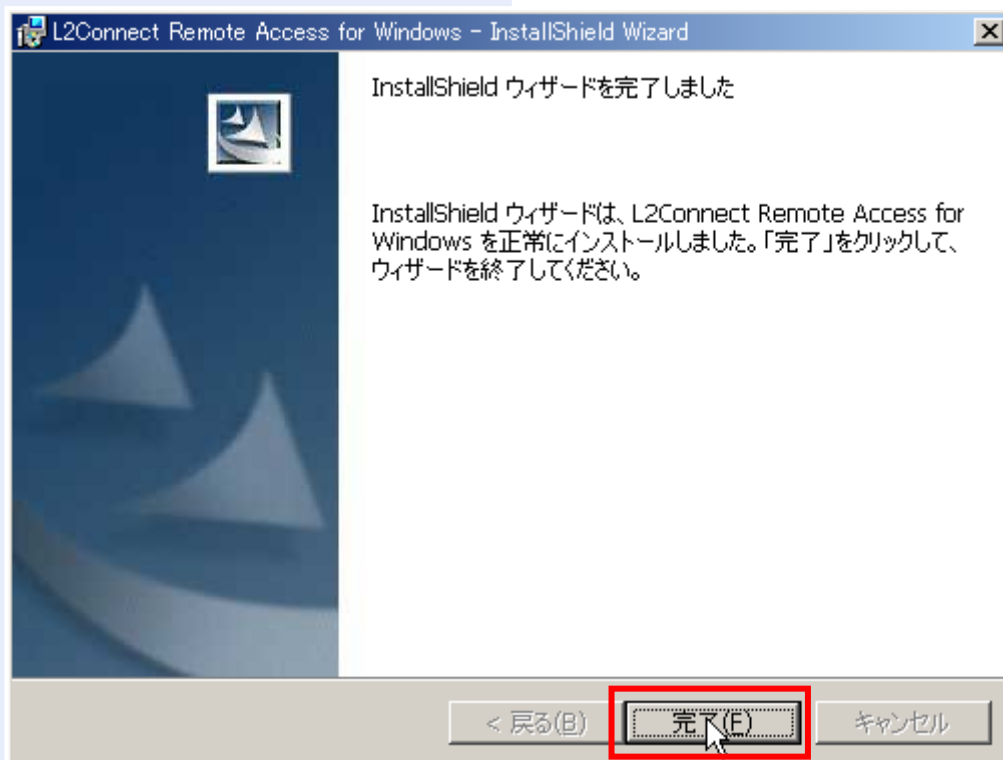
使用許諾契約の同意を求められるので、『同意します』を選択して『次へ』をクリックし、ユーザ情報を入力します。



インストール先のフォルダは、基本的には変更せずそのまま『次へ』をクリックし、インストールを開始します。



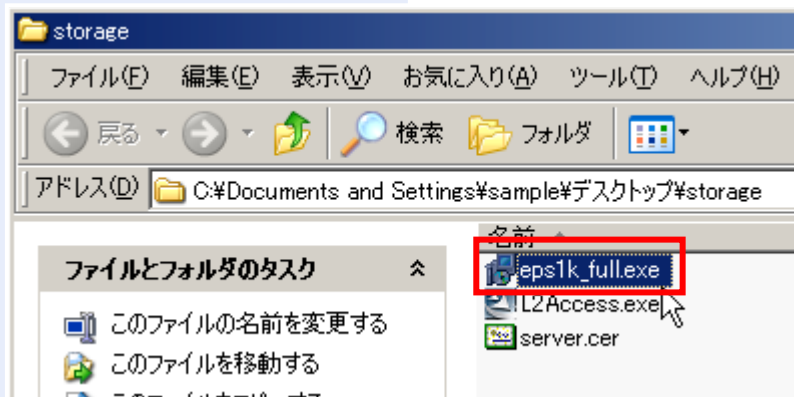
『InstallShield ウィザードを完了しました』というメッセージが出ましたら、『完了』をクリックしてください。



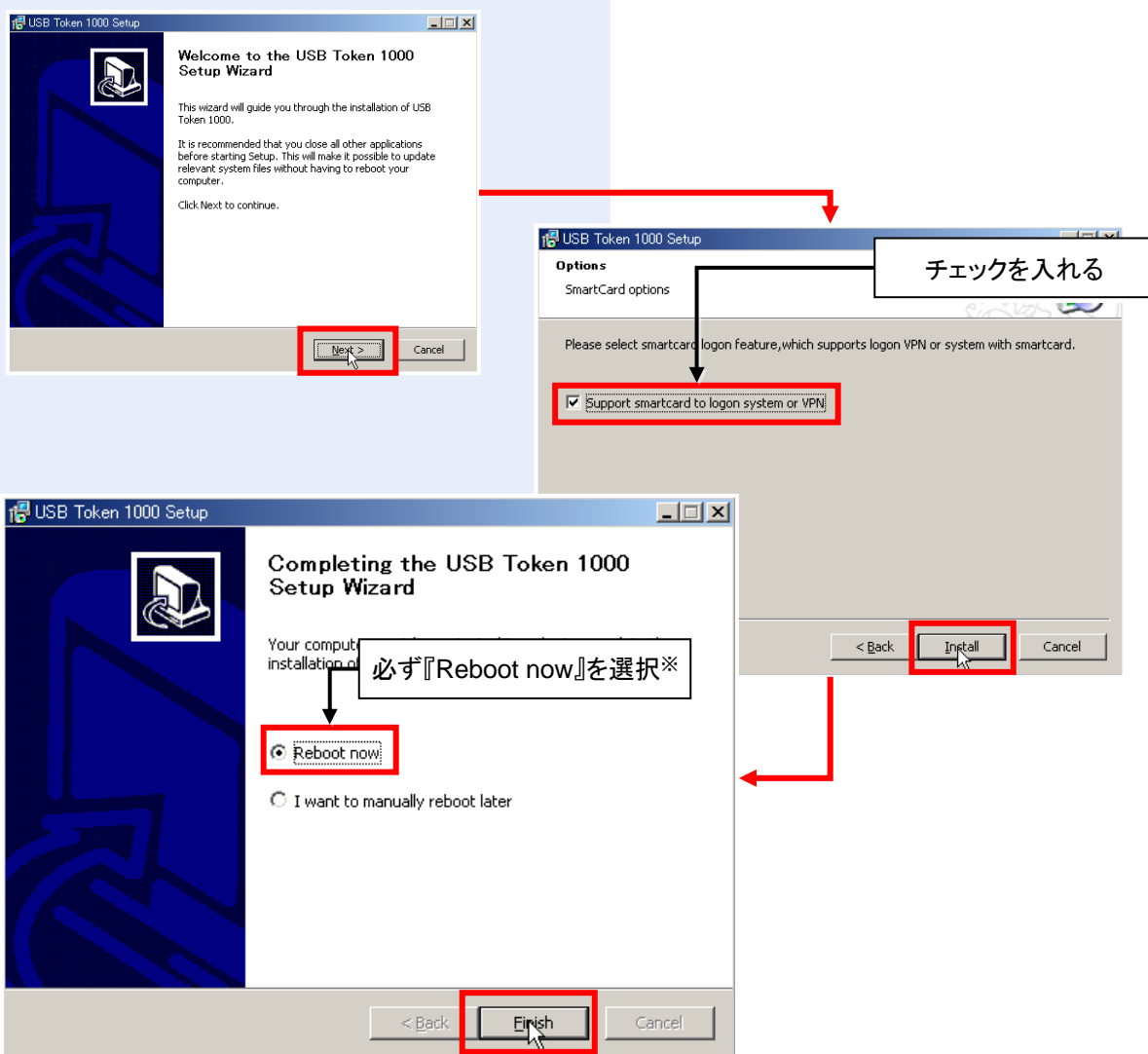
以上で、『L2Access.exe』のインストールは終了です。次項では『eps1k_full.exe』のインストールについて解説いたします。

▷ eps1k_full.exeのインストール

ダウンロードした『eps1k_full.exe』をWクリックします。



セットアップウィザードが立ち上がりますので、『Next >』ボタンをクリックし、次画面で『Support smartcard to login system or VPN』にチェックを入れ、『Install』をクリックします。



※手動で再起動をかけた場合、正常に認識されません。必ず『Reboot now』を選択してください。


『Completing the USB Token 100 Setup Wizard』のメッセージが出ましたら、『Finish』を押してPCを再起動してください。以上で、『eps1k_full.exe』のインストール作業は終了です。次項では、お客様PCの設定について解説いたします。

ネットワークストレージサービスご利用設定


アプリケーションのインストールが完了しましたら、USBキーの初期設定を開始します。

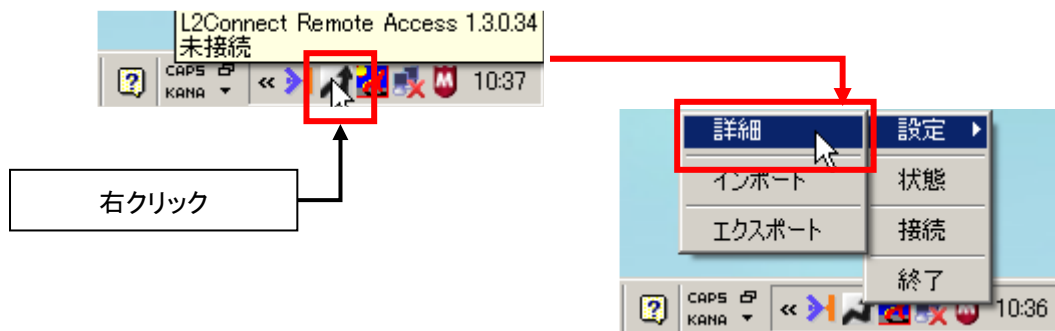
お客様のPCに、お送りしましたUSBキーの設定を登録することにより、以後USBキーの抜き差しだけでサービスがご利用いただけるようになります。

▶ L2Connect (USBキー) の初期設定

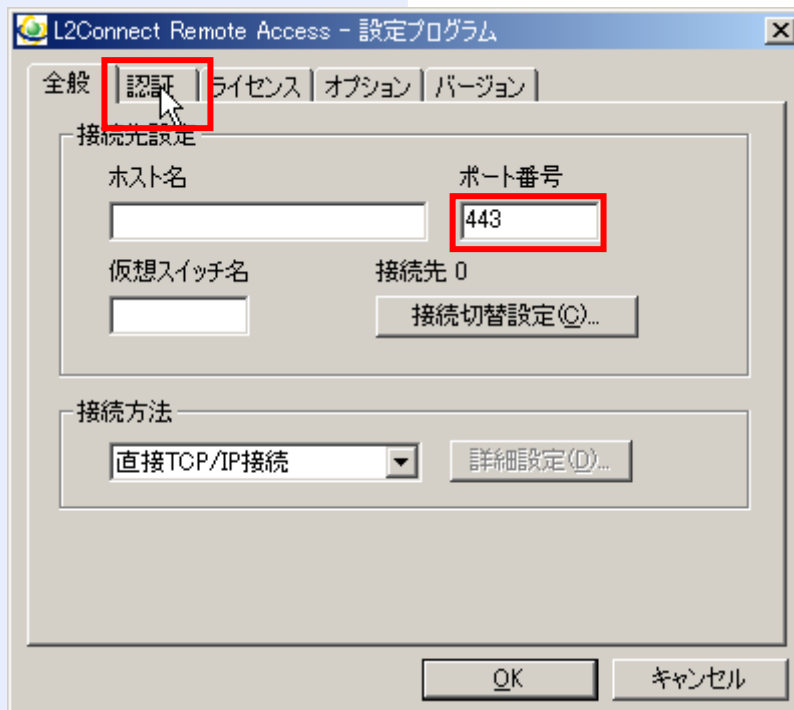
インストールが完了すると右下のタスクトレイに  アイコンが追加されます。ご確認後、PCにUSBキーを挿してください。



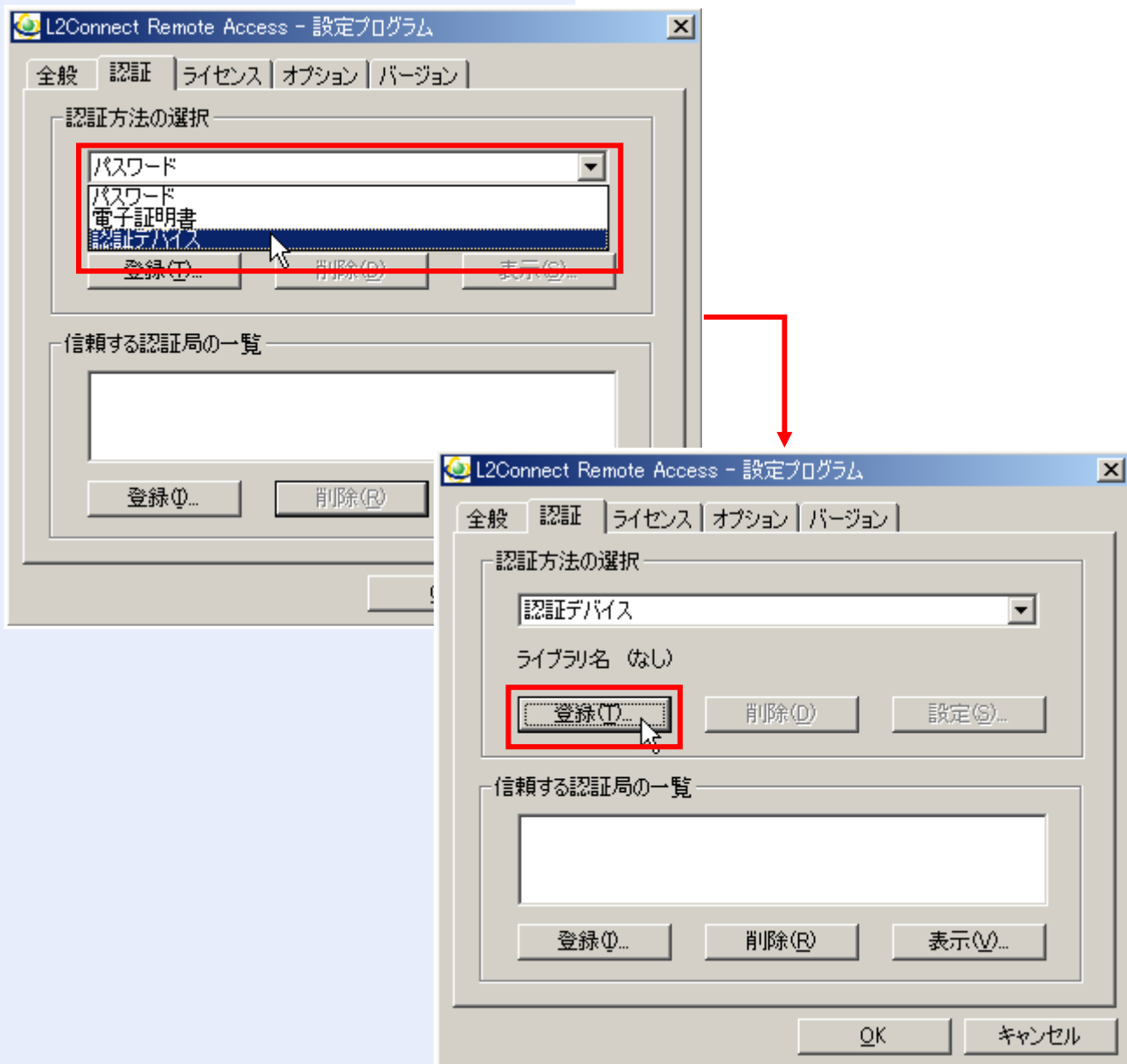
 アイコンを右クリックし、『設定』から『詳細』を選択しクリックしてください。



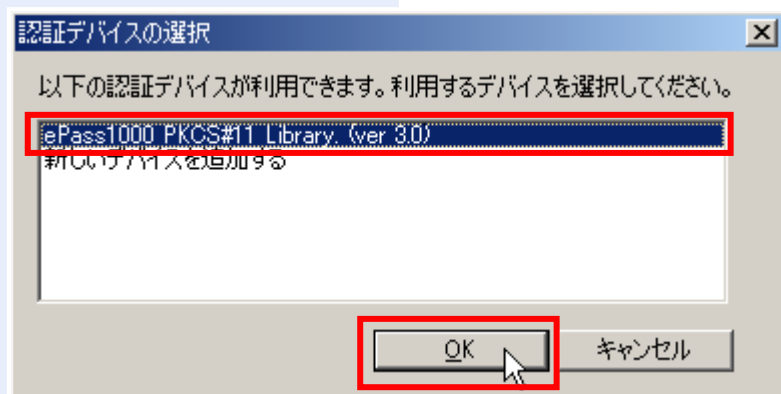
『L2Connect Remote Access – 設定プログラム』ウィンドウが開きます。ポート番号を『443』と入力し、『認証』タブをクリックしてください。



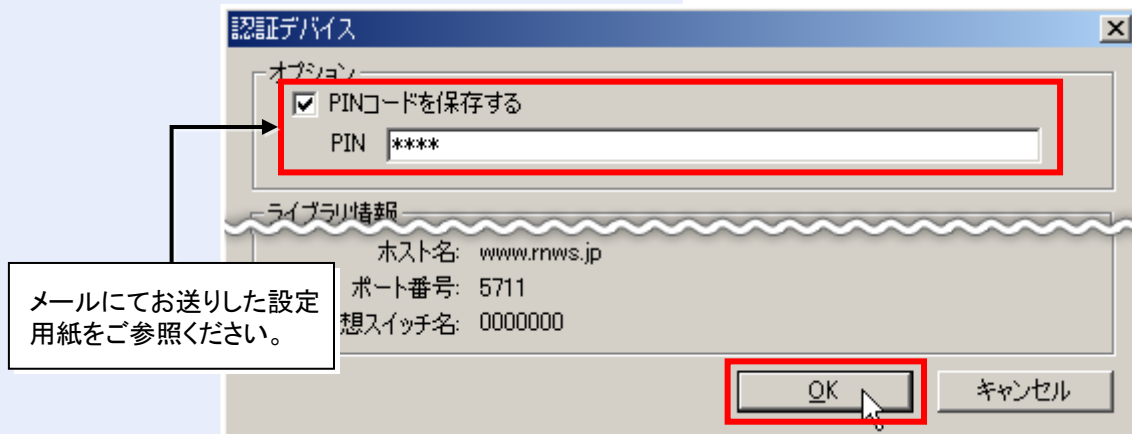
『認証方法の選択』で、プルダウンメニューから『認証デバイス』を選択し、『登録』をクリックします。



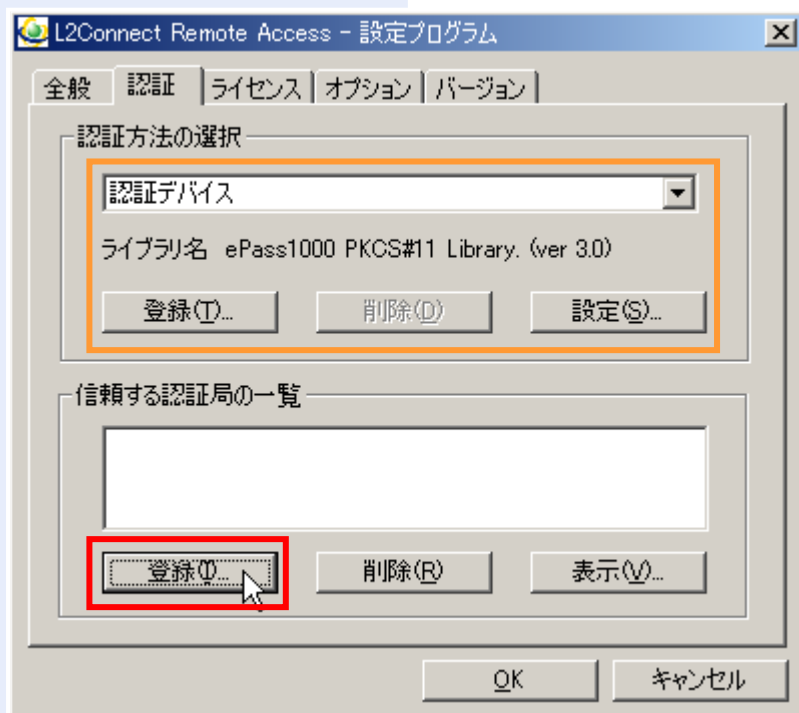
『認証デバイスの選択』ダイアログが開きますので、『ePass100 PKCS#11 Library. (ver 3.0)』を選択し、『OK』をクリックしてください。



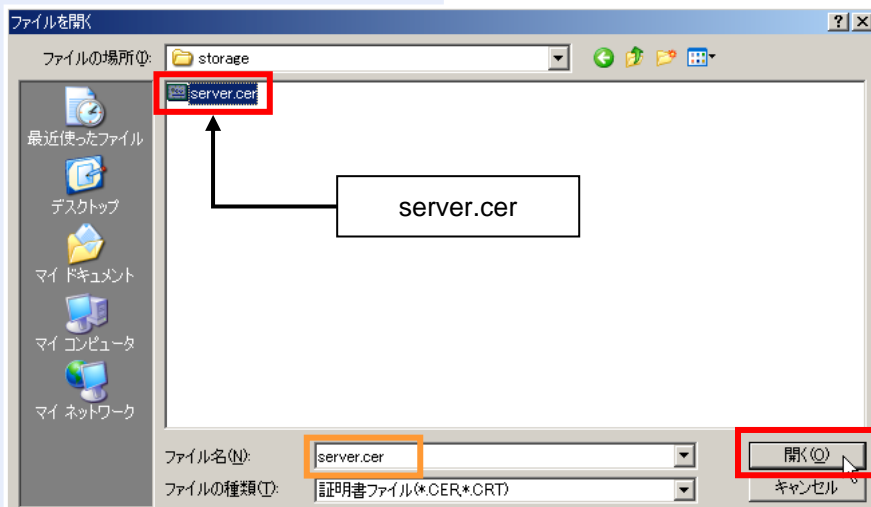
『認証デバイス』ダイアログが開きます。ここで『PINコードを保存する』にチェックを入れ、PINコードを入力してください。



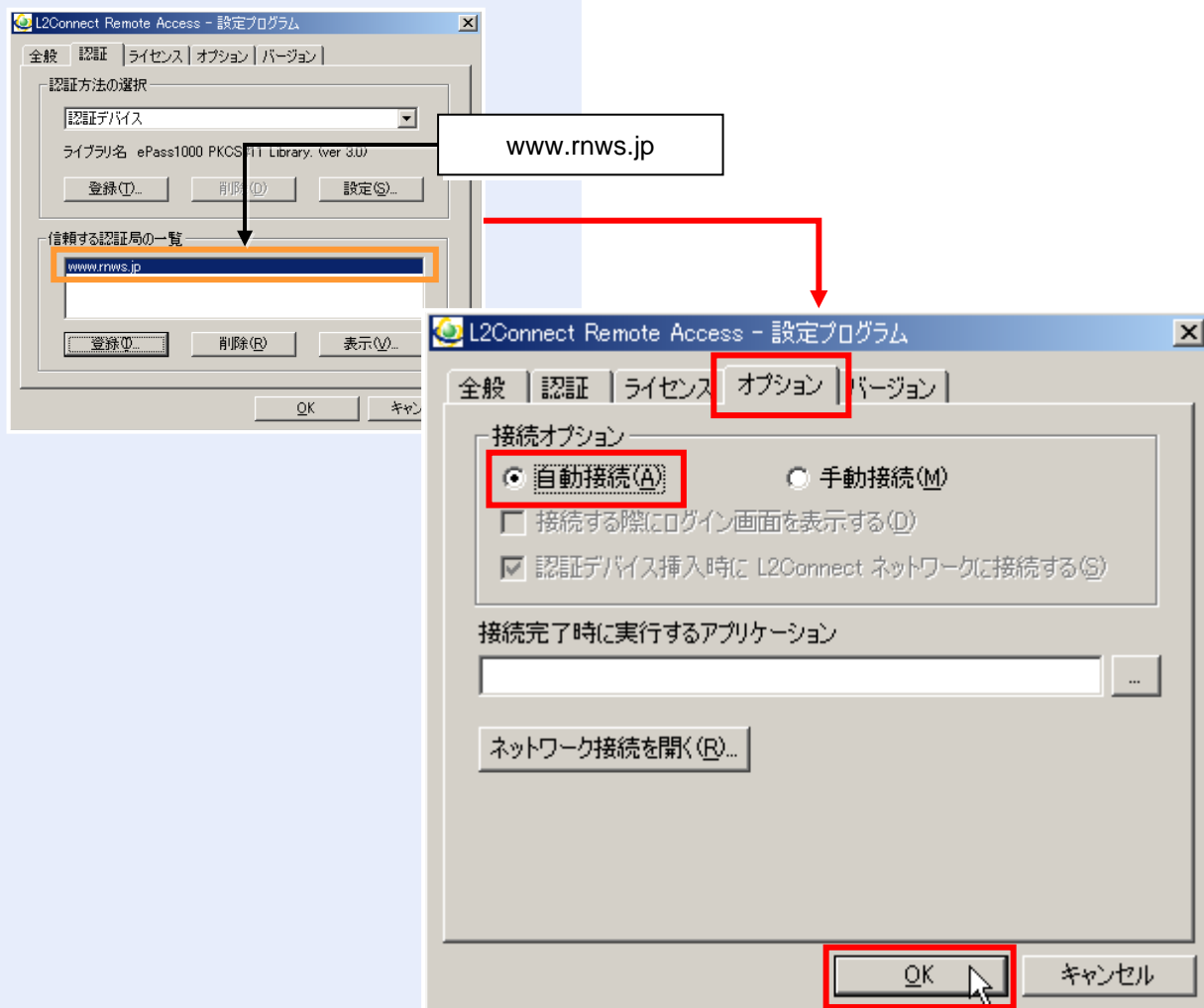
『認証方法の選択』が下図のようにになっているのを確認後、『信頼する認証局の一覧』の『登録』をクリックします。





『ファイルを開く』ダイアログが開きますので、P4と同様の手順で『storage』フォルダを開き、セキュリティ証明書を開きます。



『信頼する認証局の一覧』に『www.rnws.jp』が追加されていることをご確認の上、『オプション』タブをクリックし、『接続オプション』を『自動接続』を選択してください。



以上でお客様PCの設定は完了です。
接続の完了をチェックするために、ここで一旦USBキーを抜き、再度挿入してください。

USBキーを再挿入し、右下のタスクトレイのアイコンが、 から  になりましたら、接続は成功です。



接続中

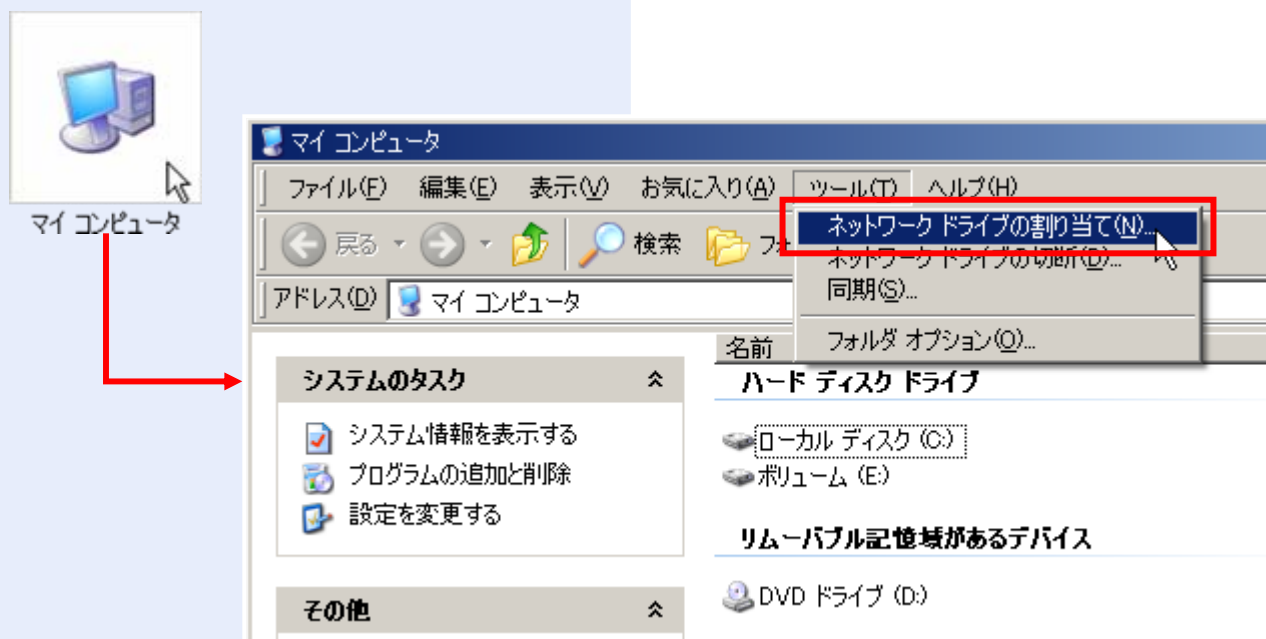
ここまで完了しましたら、以後ストレージサーバーへのアクセスは、USBキーの挿入＋パスワードの入力のみとなります。次項では、ストレージサーバーのご利用領域作成方法について解説いたします。

ストレージサーバーの作業領域

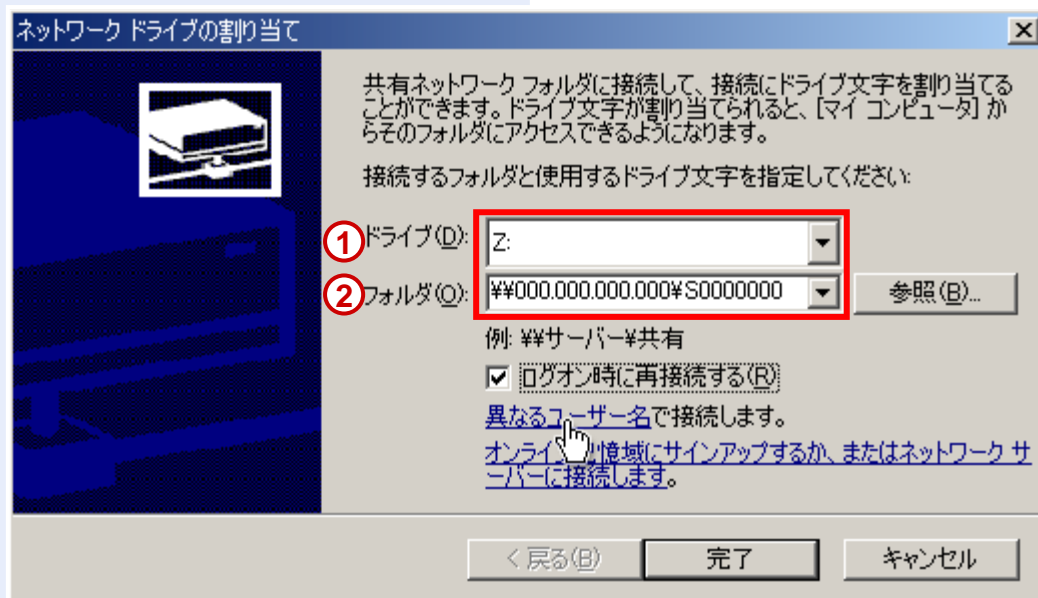
USBキーの認証完了後、お客様PCにストレージサーバー作業領域の設定を行います。

▷ ネットワークドライブの割り当て

お客様PCの『マイコンピュータ』を開き、メニューバーの『ツール』から『ネットワークドライブの割り当て』を選択してください。

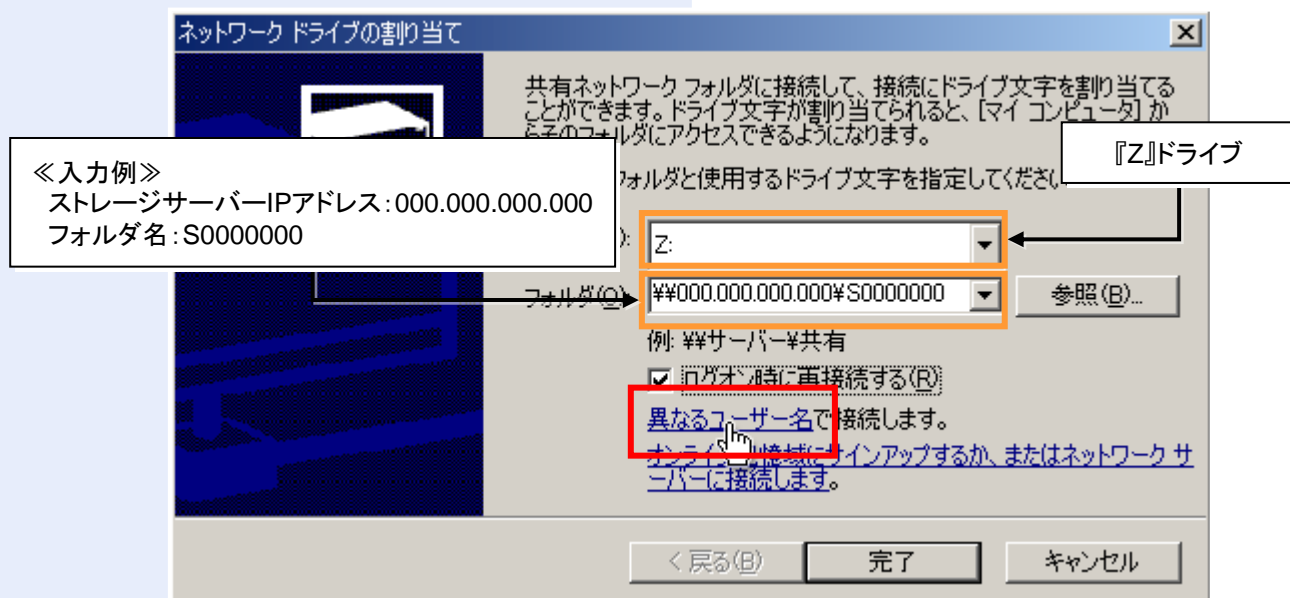


『ネットワークドライブの割り当て』ダイアログが開きますので、以下の表を参考に設定してください。

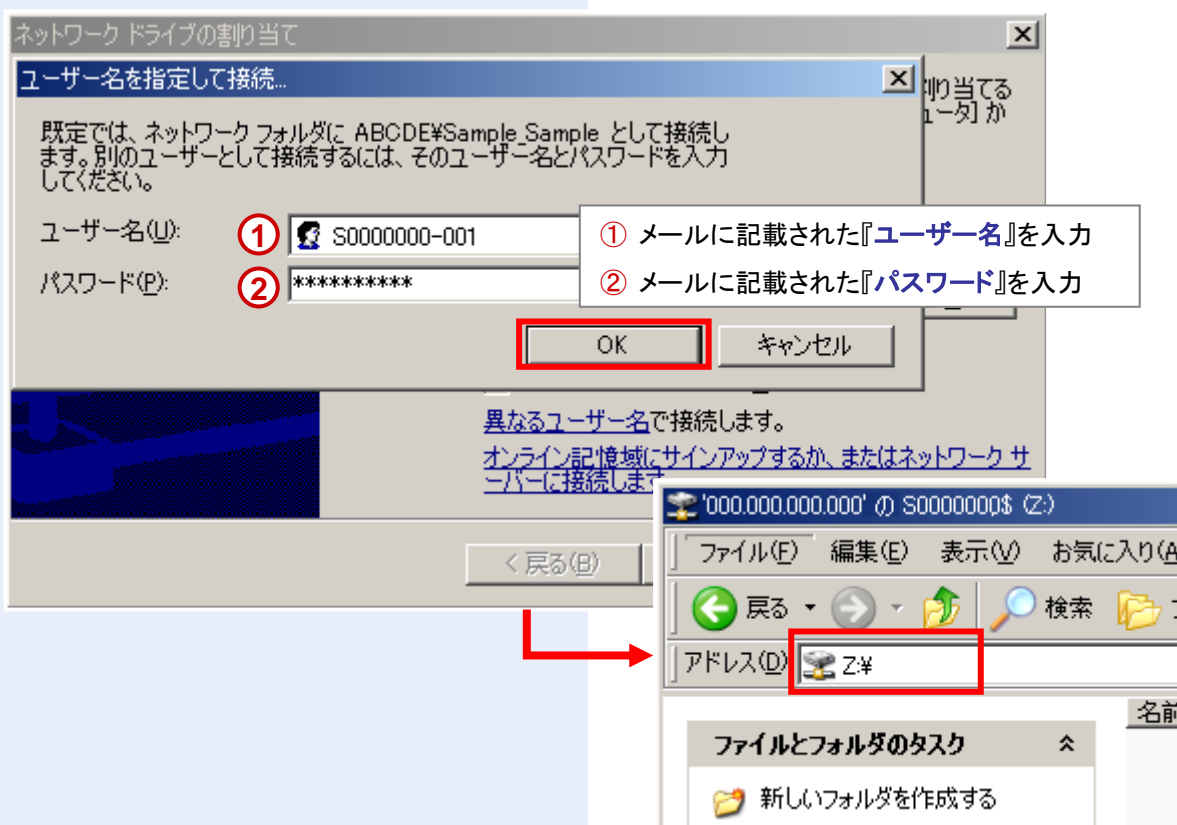


- ① ドライブは任意ですが、ここでは、『Z』ドライブを選択しています。
▼をクリックするとドライブ名の一覧が表示されますので、未割り当て(アルファベットの隣りに文字列がない)ドライブを選択します。
- ② ¥¥(メールに記載されたストレージサーバーIPアドレス)¥(メールに記載されたフォルダ名)

『ドライブ』と『フォルダ』を設定したら、『異なるユーザー名で接続します』をクリックしてください。



『ユーザー名を指定して接続』ダイアログが開きますので、設定指示書をご参照の上、以下のとおりご入力ください。



Windows XP Home Edition 及び Windows Vista Home Basic では、OSの仕様によりネットワークドライブの設定を保存することができないため、PCを起動するごとにネットワークドライブの割り当て作業を行う必要があります。

『Z:¥』ドライブが開けば、ストレージサーバーの作業領域の作成は完了です。

実際のご利用方法につきましては、別途『[ストレージサーバーご利用マニュアル](#)』をご参照ください。